

株式会社インターネットイニシアティブ

ISMS 認証の取得を機に CA ControlMinder を導入!

システム管理者とログ管理者の 職権分離と不要な操作の抑制を実現!



日本初のインターネット接続を商用サービスとして提供するパイオニアとして、1992年に設立された株式会社インターネットイニシアティブ（以下、IIJ）。“世界有数の技術力”および“高いスキルとプロフェッショナル意識をもった人材”をコアコンピタンスとして、日本のインターネット業界をリードし続けてきました。現在では、ネットワーク品質と信頼性が高く評価され、官公庁や大手・中堅企業を中心に、約6500社にサービスを提供。2003年2月のISMS取得（取得時は、IIJテクノロジーで取得）を機に、アシストが提供する「CA ControlMinder」を導入することで、システム管理者とログ管理者の職権分離を実施し、セキュリティレベルの高い運用サービス基盤を実現しています。

【CA ControlMinder】

ユーザ・プロフィール（会社概要データ）

株式会社インターネットイニシアティブ

設立 ● 1992年12月3日
資本金 ● 142億9500万円
売上高 ● 824億1800万円（2011年3月末現在）
従業員数 ● 1,944名（2011年3月末現在）
本社所在地 ● 東京都千代田区神田神保町1-105神保町三井ビルディング
U R L ● <http://www.ij.ad.jp/>
代表者 ● 代表取締役社長 鈴木 幸一

事業内容 ● インターネット接続サービスおよびネットワーク関連サービスの提供、ネットワーク・システムの構築・運用保守、通信機器の開発および販売、ATM 運営事業などを展開。

導入背景



サービス本部
サービスオペレーション部長
兼 データセンターサービス部長
山井 美和 氏

IIJ では、インターネット接続サービス事業で培った技術を基盤に、幅広いネットワーク関連ソリューションをトータルに提供しています。さらに2010年4月には、ネットワーク構築からシステムインテグレーション (SI)、そして運用アウトソーシングまでサービスを提供していたIIJテクノロジーを統合。「インターネット接続」「SI」「アウトソーシング」という3つの領域で、顧客企業のあらゆるニーズに応える総合的なサービスや最適なソリューションをワンストップで提供しています。



サービス本部
サービスオペレーション部
オペレーションシステム1課長
兼 オペレーションシステム2課長
西山 幸秀 氏

サービス本部 サービスオペレーション部長 兼 データセンターサービス部長である山井美和氏は、「企業が利用するインターネット関連のインフラやアプリケーションの構築から24時間×365日の運用アウトソーシングまで、あらゆるサービスを提供できるのがIIJの強みです。近年では、モバイルサービスにも注力しており、また自社でルータも開発しています」と話します。

※部署名、役職名は2011年3月当時

特に運用アウトソーシングは、IIJが提供する高品質のバックボーンを基盤に、堅牢なデータセンターと実績あるオペレーションで構成されています。しかし法改正など、ビジネス環境の変化に、迅速に対応することが急務となっていました。サービス本部 サービスオペレーション部 オペレーションシステム1課長 兼 オペレーションシステム2課長の西山幸秀氏は、運用アウトソーシングで抱えていた課題について、次のように語ります。

「ハードウェアは、すべてデータセンターで管理されているので、物理的なセキュリティレベルは十分な環境にあります。しかし、情報漏えいの対策や個人情報保護法の施行など、セキュリティに対する要求が高度になってきました」

そこでIIJ (旧IIJテクノロジー) では、セキュリティ強化に対する取り組みのひとつとして、2003年2月にISMS (Information Security Management System) 認証を取得することを決定。さらに2003年3月にはISMS認証の取得にあわせ、リモートアクセスに関する部分の脆弱性を補うことを目的に、CA ControlMinderの導入を決定しました。



サービス本部
サービスオペレーション部
オペレーションシステム2課 エンジニア
藤井 拓也 氏



サービス本部
サービスオペレーション部
テクニカルサポート3課 エンジニア
杉浦 卓卓 氏

採用・ 選定ポイント

ログ管理者とシステム管理者の職権分離が必須条件

IIJでは、顧客企業のシステム管理やメンテナンスを行う場合、オープンソースを活用したログインゲートウェイを経由してログインすることで、セキュリティを確保する仕組みを構築していました。しかしISMS認証の取得にあたり、アクセスログや操作記録の取得などの監査がより厳格に求められることから、新たな仕組みの導入が必要でした。

サービス本部 サービスオペレーション部 オペレーションシステム2課 エンジニアである藤井拓也氏は、「新しいログインゲートウェイサーバの構築において必須となる条件は、システム管理者とログ管理者の権限を分離できる仕組みを実現することでした。理由は、システム管理者とログ管理者が同じ権限を持っていると、せっかくログを収集していても、システム管理者の権限でログを改ざんすることができるためです」と話します。

IIJではこうしたセキュリティの観点で、いくつかのセキュリティ製品の比較検討を行いました。しかし多くの製品は、ログ管理者とシステム管理者が同じ立場でしか管理できないものでした。藤井氏は、「職権分離の仕組みを搭載している製品はCA ControlMinderしかありませんでした。当初は、オープンソースの活用も考えましたが、一から開発するのは効率的ではないと判断しました。また、商用ソフトウェアであればサポートも期待できます。CA ControlMinderの導入において、最も多くの経験と実績、ノウハウを持っていたのがアシストでした」と話しています。

構築・運用状況

3カ月の短期間でログインゲートウェイサーバを構築

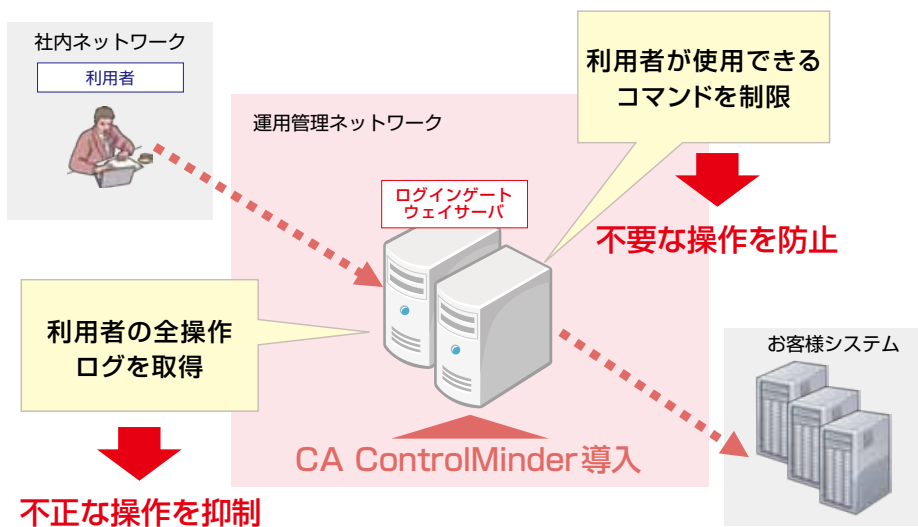
IIJでは2003年3月にCA ControlMinderの採用を決定し、約3カ月にCA ControlMinderを導入したログインゲートウェイサーバを構築しています。このログインゲートウェイサーバは、顧客のシステムを管理する場合に、不要な操作を防止し、抑制することが可能になります。たとえば利用者は、CA ControlMinderで制御されているコマンドを投入しようとしても、システムが受け付けない仕組みが実現されています。

またシステム管理者向けには、root権限の操作を制限することで、ログファイルへの操作ができない仕組みも実現されています。これにより、ログインゲートウェイサーバを管理するシステム管

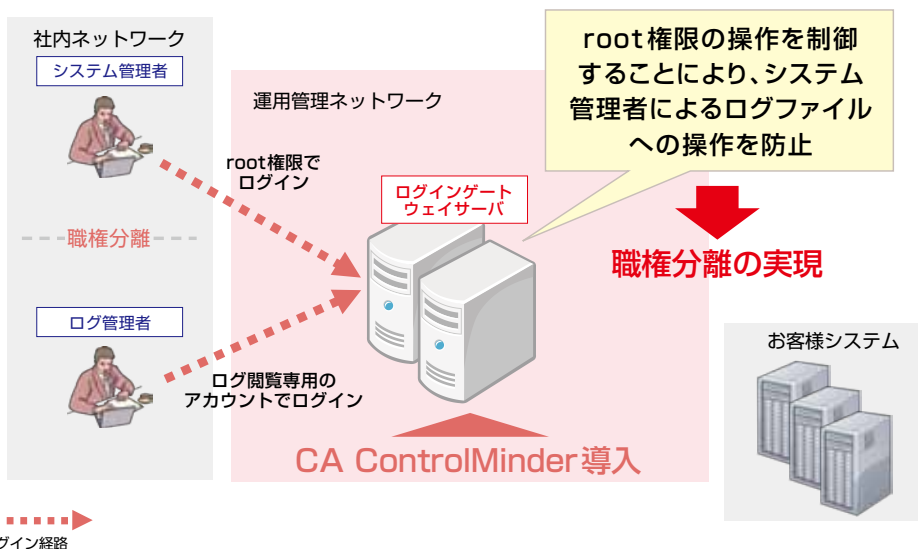
理者と、利用者が操作したログを管理するログ管理者に職権分離しました。

藤井氏は、「開発期間が短かったために、CA ControlMinderのすべての機能を使い切ることではできませんでした。そこで、顧客企業のシステムを管理する利用者が使用できるコマンドを制御する機能、すべての操作ログを取得するための機能、root権限の操作でもログファイルを操作できなくする機能など、必要な機能に絞って導入しています。これにより、3カ月という短期間で導入することができました」と話しています。

システム構成とフロー概要(利用者)



システム構成とフロー概要(管理者)



導入効果

職権分離という当初の目的を達成できたことに満足

顧客企業にとって運用アウトソーシングサービスは、システム運用・管理の作業負担を軽減し、導入・運用コストを削減できるメリットがあります。その一方で、システムの管理をアウトソーサーに一任しなければならないために、情報漏えいやデータの紛失など、セキュリティ上のリスクも考慮しなければなりません。

しかしCA ControlMinderを導入したことで、顧客企業が抱えるセキュリティ上の懸念を払拭することができました。西山氏は、「職権分離という目的ありきでCA ControlMinderを導入したので、その目的が達成できたことは非常に良かったと思っています。CA ControlMinderを導入した結果、われわれの運用アウトソーシングサービスの強みとなりました。セキュリティ要件が厳しい案件、特に金融機関の案件において、要件をクリアして導入することができています」と話します。

また山井氏は、「CA ControlMinderを導入したセキュリティ基盤の構築は、社内外における管理基準としてなが必要なのかを考えた結果でした。現在は、これが直接的な顧客の評価になることはなくなりましたが、セキュリティ対策を、やっているか、やっていないかは大きな差となります。

CA ControlMinderがあることで、今後もお客様に安心してIIJのサービスを利用してもらうことができます」と話しています。

さらにCA ControlMinderに対する評価を藤井氏は、「CA ControlMinderの基本的な機能しか使っていないこともあるかもしれませんが、現在は安定稼働しています。例えば、誤動作や何らかの事故などが発生した場合に、誰がどんな操作をしたのかを把握することなどに使っています。このような不定期に発生する事象に対して、有効に機能しています」と話します。

そのほかアシストのサポートについてサービス本部 サービスオペレーション部 テクニカルサポート3課 エンジニア 杉浦史卓氏は、次のように語ります。「CA ControlMinderは導入当初、バグなどいくつかの問題がありました。こうした問題に関しては、アシストのサポートで迅速に解決できました。また、CA ControlMinderを使うのは初めてでしたが、研修を1日受けただけで使えるようになりました。CA ControlMinderの高い操作性とアシストのサポートは、高く評価しています。現在はまったく問題なく稼働しており、非常に満足しています」

今後の展望

収集した操作ログの分析、レポートニングに期待

IIJでは、CA ControlMinderを導入したログインゲートウェイサーバを構築することで、操作ログを収集する仕組みは実現していますが、アクセス状況を報告する顧客向けのレポートサービスなど提供しておらず、現状では内部監査のためのCA ControlMinderの機能だけを利用しています。そのため収集した操作ログをいかに分析するかが今後の課題となっています。

西山氏は、「現状では、必要に応じて手作業で操作ログの分析業務を行っていますが、今後はシステム化も計画しています。ここ数年では、特に金融機関のお客様から、内部統制や内部監査などへの対応の目的で、アクセス状況を報告してほしいという要望が出てきています。こうしたニーズに関しては、今後いかに取り組んでいくかを明確にしていかなければならない時期が来ていると思っています」と話します。

「操作ログの分析に関しては、CA ControlMinderだけで実現できるものではないのですが、分析調査とレポートニングに関しては、今後さらに拡充していく必要があると思っています。また業種や業界で要求されるレベルが違うので、個別のサービスを提供していく体制を確立していきたいと思っています」（西山氏）

山井氏は今後のアシストに対する期待を、「アウトソーシングは変化の激しい分野なので、できるだけタイムリーな技術やソリューション、最適なサポート、ライセンス体系などを提供してもらえることを引き続き期待しています」と話しています。

お問い合わせ

株式会社アシスト

■東京 〒102-8109 東京都千代田区九段北 4-2-1 市ヶ谷東急ビル TEL:03-5276-5862
■札幌 〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 4-1-1 パストラルビル N8 5F TEL:011-746-8484
■仙台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院 1-1-20 花京院スクエア 19F TEL:022-713-5802
■名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦 1-11-11 名古屋インターシティ4F TEL:052-232-8211
■松本 〒390-0815 松本市深志 1-4-25 松本フコク生命駅前ビル 6F TEL:0263-39-1315

■金沢 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 ボルテ金沢 8F TEL:076-260-4921
■大阪 〒530-0015 大阪市北区中崎西 2-4-12 梅田センタービル 28F TEL:06-6373-7113
■広島 〒730-0011 広島市中区基町 12-3 COI 広島紙屋町ビル 3F TEL:082-224-6170
■福岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-6-1 九勤筑紫通ビル 9F TEL:092-481-7156
■沖縄 〒901-2131 浦添市牧港 5-2-1 沖縄電力本店別館 6F TEL:098-942-5430

URL: <http://www.ashisuto.co.jp/> 製品URL: <http://www.ashisuto.co.jp/prod/acx/> E-Mail: ssj_info@ashisuto.co.jp